

3. 平成21年新春講演会・賀詞交歓会

— 会長挨拶 —

(平成21年1月23日プラザ菜の花)

千葉県環境計量協会

会長 武藤 敏夫



新年明けましておめでとうございます。本日は、お忙しい中新春講演会に多くの皆様のご出席をいただきましてありがとうございました。

新年早々厳しい話が続いています。ご存知のように昨年来の米国に端を発した金融危機を契機として世界的な経済危機に直面しています。日本経済も海外経済の急激な減速や円高の影響により減少に転じてきています。それがいまや我々にも身近な雇用の問題へ発展し、年末・年始をはじめ、毎日のように関連するニュースが報道されています。あれほど好調だった自動車産業もとは、誰も予想できなかったのではないかと感じているところでもあります。

既に、色々な形で私どもの仕事にも直接、間接的に影響が出てきていると思います。その難しさは、更にどのような形で影響が広がっていくのなかなか読めないことではないかと素人ながらに考えるところでもあります。どう準備して良いかわからないことではないでしょうか。

一方、こんな暗いニュースが続くなか、昨年ほっとしたことの1つが、私にとってかもしれませんが、佐渡のときの放鳥でした。まだ始まったばかりであります。長年の関係者の苦勞が実ってきたものと思われ。直接支援ということはできませんが、応援していきたいと考えています。本年の新春講演会は環境計量という視点から少しはなれて、それぞれが社会の一員として自然の再生、保護について何ができるかとの視点から「三番瀬の再生」、「アホウドリの保護・研究」について、千葉県の市原様、東邦大学の長谷川先生にご講演をいただけることになりました。大変お忙しい中時間を作っていただきました。貴重なお話を伺えると思いますのでよろしくお願い致します。

最後になりますが、厳しい時こそ本会の目的であります

「計量証明に関する技術の向上と会員相互の親和と親睦に努め計量証明事業の正しい発展を図る」

ことが大切と考えます。引き続き本年も協会運営につきましてご支援を賜りたいと思います。簡単ですが、開会の挨拶とさせていただきます。